

各 位

会 社 名 株式会社 山陽百貨店
 代表者名 代表取締役社長 澤田 瑞穎
 (JASDAQ コード・ 8 2 5 7)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役 経営企画統括ゼネラルマネジャー
 兼 総務人事統括ゼネラルマネジャー
 仲井 大八
 電話番号 0792-23-1231

特別利益の減少事実の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり特別利益の減少事実が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 18 年 2 月期（平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日）の業績予想を修正いたします。

記

1. 特別利益の減少事実の発生及びその内容

当社は社員に引き続き、パートタイマー社員の退職金制度を改訂することといたしましたが、この改訂により退職給付会計上過去勤務費用が発生することとなり、平成 17 年 7 月 11 日に公表いたしました退職金制度改訂により発生した特別利益 206 百万円が 34 百万円減少し、172 百万円となる予定であります。

2. 平成 18 年 2 月期業績予想の修正について

上記 1 及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 4 月 22 日の決算発表時に公表した業績予想を次のとおり修正いたします。

(1) 平成 18 年 2 月期 中間業績予想値の修正（平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日）

個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 4 月 22 日発表)	12,160	52	44
今回修正予想 (B)	11,800	105	58
増減額 (B A)	360	53	14
増 減 率	3.0		
前期 (平成 17 年 2 月期中間) 実績	11,895	20	10

連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 4 月 22 日発表)	14,001	35	28
今回修正予想 (B)	13,516	73	33
増減額 (B A)	485	38	5
増 減 率	3.5		
前期 (平成 17 年 2 月期中間) 実績	13,704	48	9

(2) 平成 18 年 2 月期 通期業績予想値の修正 (平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日)
個別業績予想 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 4 月 22 日発表)	25,120	42	33
今回修正予想 (B)	24,927	16	66
増減額 (B A)	193	26	33
増 減 率	0.8	61.9	100.0
前期 (平成 17 年 2 月期) 実績	24,597	132	21

連結業績予想 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 4 月 22 日発表)	28,832	68	55
今回修正予想 (B)	28,101	46	90
増減額 (B A)	731	22	35
増 減 率	2.5	32.4	63.6
前期 (平成 17 年 2 月期) 実績	28,243	184	46

(3) 理由

個別業績

当中間期は、依然として百貨店業界を取り巻く環境が厳しいなか、売上高は売場改装期間中の 3 月 4 月の売場面積減による減少が大きく、前回予想を 360 百万円下回る見込みであります。これに対し、人件費をはじめ諸経費の削減に努めてまいりましたが、売上高の減少を補うことはできず、経常利益は前回予想を 53 百万円下回る見込みであります。また、当期純利益は上記 1 による特別利益 172 百万円及び子会社支援の特別損失 200 百万円の発生及び固定資産受贈益の増加、税負担の減少等により前回予想を 14 百万円下回る見込みであります。

下半期におきましても、引き続き厳しい商況が予想されるなか、売場改装効果による増収を見込みますが、上半期の減収は補いきれず通期は前回予想に対し売上高は 193 百万円減少、経常利益は 26 百万円減少、当期純利益は 33 百万円増加と予想しております。

連結業績

中間期は、個別の業績予想の修正に基づき、予想の修正を行うものであります。

通期は、個別の業績予想の修正とスーパーマーケット業を営む子会社(株)サンヨーマーの不採算店舗閉鎖の影響を考慮し、予想の修正を行っております。

以 上